



最優秀賞(1作品)



【講評】

絵日記には子どもの思い出が描かれます。家族と花火に行った思い出は家族を繋ぐ大切な思い出になって行きます。花火の美しさ・家族と過ごした時間。それらは絵日記の1ページに収まり切らず、見開きになるほど深く子どもの心に刻まれた大切な思い出となっているのです。子どもの心理をうまく描いています。



優秀賞(3作品)①



【講評】

今までは自分の家から花火が良く見え、花火を楽しんでいたのに、今年
は家の前に家が建ち、音だけが響いてくるのです。仕方ないので、見える
所までゴザを持って行き、花火を楽しむことにしました、年ごとに変わる環
境をうまく描いています。



優秀賞

優秀賞(3作品)②



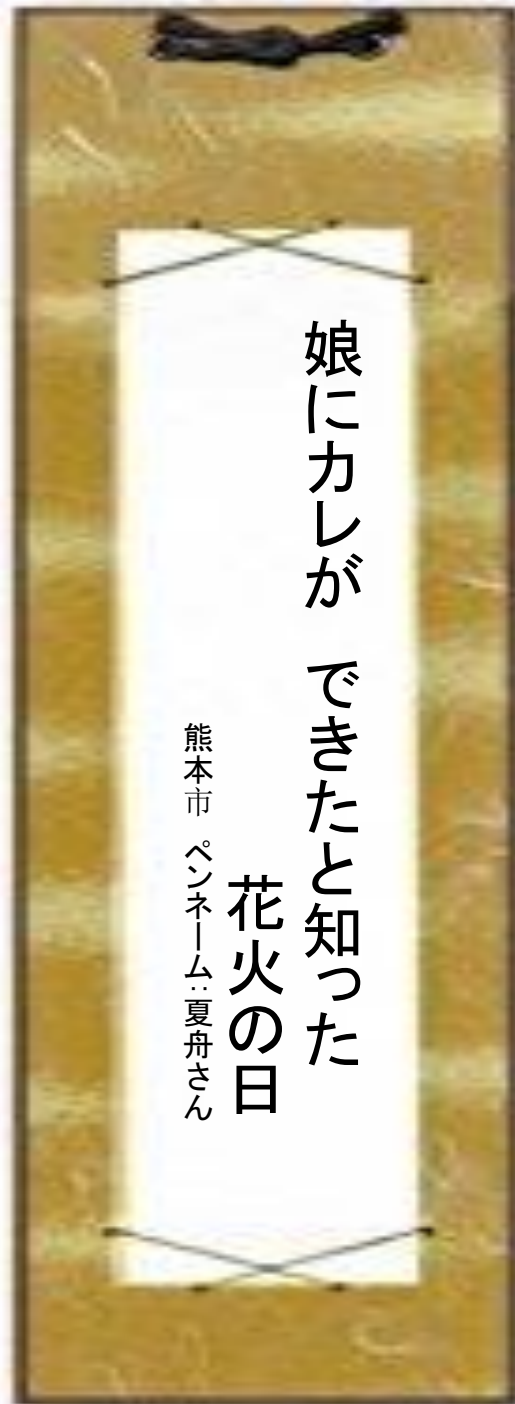
【講評】

花火がパッと開く、その一瞬が周囲を明るく照らし出します。その輝きが、人々の様子を映し出すのですが、歓声を上げたり、大きな口を開けたりして花火を見ている姿が目に入ります。花火と口を対比しながら、ユーモラスにその場面を描いています。



優秀賞

優秀賞(3作品)③



【講評】

いつもは女友達と花火に出掛けていた娘なのに、今日は浴衣を着て、おめかしをして出掛けて行こうとしているのです。母親にたずねると、「今日は彼と一緒に花火に出掛ける」というので、父親は今までとは違う複雑な心境にさいなまれるのです。父親の心境がうまく描かれている句です。



花火実行委員会 特別賞(1作品)

病室の
窓の切り取る
遠花火

いわき市 ペンネームほりたくさん

【講評】

花火は郷愁を誘うし、いくつになってもトキメキがあります。今は病で、花火に出掛けることはできないのですが、遠くで揚がる花火の音が聞こえてきます。窓に目をやると、すべての花火は見えないですが、病室の窓に切り取られた花火が見え、病の心に昔の思い出がよみがえってきます。



佳作(5作品)

半端ない 花火と音と 渋滞と

小牧市 浦田 弓子さん

里帰り 親子四代 観る花火

京都市 丹羽 潤美さん

あなたとの 花火が愛の 発火点

大阪府高石市 ペンネーム: ささきゆりさん

花火あと カランコロンと 帰る道

焼津市 池田 克江さん

君の瞳に 映る花火に 嫉妬する

宮崎市 中村 貴子さん